

須賀川二中 学校だより 4

深原ケ

平成27年5月29日発行 《発行者》

須賀川市立第二中学校長

活躍に期待!

来週から6月となり、いよいよ夏本番を迎えます。今年は 5月から暑い日が続き、猛暑の夏が予想されますが、生徒た ちのほとんどは衣替えを済ませ、さわやかに学習や各種の行 事に取り組んでいます。

岩瀬支部陸上大会も終了し、総合大会を迎えることになり ます。今までの練習の成果を発揮し、優勝や上位大会への出 場権を得る種目がたくさん出ることを期待しています。保護 者の皆様にいい報告ができるよう頑張ってほしいと思いま す。

> 2種目で優勝! 岩瀬支部陸上競技大会



14日(木)に鏡石町鳥見山陸上競技場において、中体連 岩瀬支部陸上競技大会が行われました。

5月にしては暑すぎるくらいの天候の中でしたが、本校か》 らは48名の生徒が選手として出場し、各種目において持て《 る力を精一杯発揮してくれました。特に、男子3年100mで

は宗方くんが《

中体連総合大会のお知らせ

岩瀬支部中体連総合大会が下記 により開催されます。お忙しい中 とは存じますが、保護者の皆様に も来場いただき、ぜひ応援をお願 いいたします。

- 1 期日 6月3日(水),4日(木)
- 2 場所 地区内の各会場
- 3 その他

応援のマナーについて問題とな ることがあります。大会であるこ とや公共の施設を使用しているこ とをご理解の上、マナーを守って の応援をお願いします。

《二中生の活躍》

岩瀬支部陸上競技大会 数字は学年 《男子》

1年 100m 5位 佐藤 郁樹 3年 100m 1位 宗方 大樹 共通 800m 5位 石井 隼人 5位 小森 直幸 1年 1500m 2.3年1500m 3位 上岡 悠生 共通走幅跳 5位 石田 龍生 共通砲丸投 5位 荒関 真基 低学年リレー 4位(佐藤・総・櫻・瑞) 共通リレー 5 位(菅波・宗方・根本・濱津) 2位 ミヒニャック瑠偉 四種競技 《女子》

3位 下重友里愛 3年 100m 共通 800m 6位 菊地 美涼 2位 名越 美帆 1年 1500m 4位 菊地 麻耶

2,3年1500m 4位 塩田 理胡 共通100m H 1位 齊藤 なお 共通走高跳 4位 遠藤

6位 阿部 愛海

共通走幅跳 3位 望月 優希 共通砲丸投 2位 西間木涼乃

3位 小髙みのり 共通リレー 3位(鐷·隀·钿·鲳)

四種競技 2位 金澤 姫乃 三校対抗野球大会 優勝

牡丹祭卓球大会 男子団体
 中3年以下男子シングルス。3位。柏原大輝

見事に3連覇 を達成しました。また、女子共通100mHに出場した齊 藤さんは1年生ながらきれいな走りで優勝し、今後の 活躍が楽しみです。他の種目においても優勝こそ逃し たものの、多数の入賞種目がありました。特設陸上部

で限られた時間の中、練習に励んできた選手の皆さんに、心か ら拍手を送りたいと思います。

1年、2年に

引き続き、3

年でも優勝し、

なお、優勝種目は、7月7日(火)~9日(木)に郡山開成 山陸上競技場での県大会への出場となります。保護者の皆様に は、お忙しい中応援をいただき心より御礼申し上げます。



避難訓練(不審者対応)を実施!

18日(月)の6校時に、避難訓練を実施! しました。今年度第1回目は、須賀川警察署 と駅前交番から3名の方にお越しいただき、 不審者対応の訓練を行いました。不審者が学 校に侵入したという想定で、全校生が体育館!の学習を経験しています



いて教えていただきました。「危 険な所には近づかないことが大 切」という話もありました。

ムシテック学習(1年)

21日(木)に1年生がムシテックで体験学習を 行いました。当日は二中生だけの貸し切りでの学習

となりました。小学校で もムシテックを利用して に避難しました。が、改めて科学の不思議 警察署の方か「を学ぶことができまし らは、訓練の講した。マナーを守り有意義 評と護身術につ「な一日となりました。



学習旅行(2年)

21日(木)に2年生が仙台方面 への学習旅行を実施しました。天候 に恵まれ絶好の旅行日和の中、仙台 の旅を満喫してきました。事故なく 無事に帰校することができ、全員が 満足の表情でした。



生徒会総会を開催! 22日(金)の午後に前期生徒 会総会を行いました。

生徒会や専門部・部活動の活動 計画のあと、決算報告・予算案に ついての審議を行いました。

1年生は中学校に入学して初め

ての総会でしたが、真剣な態度で臨んでいました。全校生で よりよい二中を創造していくことに期待しています。

支部総合大会壮行会を実施!

28日(木)の6校時に、中体連総合大会の壮行会を実施

しました。いよいよ始まる大会に向

けて、各部: とも強い意

学校の勉強でも、人として成長するためにも、素直さは大 気込みを感切なことです。人の考えや意見を聞き入れたり、自分の意に じることが反した出来事を受け入れたりしなければならないことは、よ できました。くあることです。しかし、その時の受け止め方次第で大きな 応援も前 差となってきます。素直な心をもって、毎日の生活を送って

こころの窓

機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

回の支部陸上壮行会に続き2回目とないきたいものです。 り、応援団を中心に全校生で立派に激 励することができました。

壮行会の中で、試合に勝つための心》 <u>構え「必勝訓」を話しました。</u>

必勝訓

勝ち越しているときは勢いに乗ぜよ 負け越しているときにも

臆すことなかれ

どうせ負けるなら

真技を発揮することを考えよ 必勝法とは之なり

PTA専門部会を開催

22日(金)の午後7時からPTA 専門部会を開催しました。全体会の後、

計画について の話し合いが 行われました。

今年1年間 お世話になり ます。

逆、境・・・・それはその人に与えられた尊い試練であり、 この境涯に鍛えられてきた人は誠に強靱である。古来、 偉大なる人は、逆境にもまれながらも、不屈の精神で生き 抜いた経験を数多く持っている。

素直に生きる

誠に逆境は尊い。だが、これを尊ぶあまりに、これにと らわれ、逆境でなければ人間が完成しないと思い込むこと は、一種の偏見ではなかろうか。

逆境は尊い。しかしまた順境も尊い。要は逆境であれ、 順境であれ、その与えられた境涯に素直に生きることである る。謙虚の心を忘れぬことである。

素直さを失ったとき、逆境は卑屈を生み、順境は自惚れ を生む。逆境、順境そのいずれも問わぬ。それはそのとき 各部会に分かれて、組織づくりと事業》のその人に与えられた一つの運命である。ただその境涯に 素直に生きるがよい。

> 素直さは人を強く正しく聡明にする。逆境に素直に生き 抜いてきた人、順境に素直に伸びてきた人、その道程は異 なっても、同じ強さと正しさと聡明さを持つ。

> お互いに、とらわれることなく、甘えることなく、素直 こその境涯に生きてゆきたいものである。